

事業概要説明シート

事務事業番号

10601440002

事務事業名	コミュニティ活動補助事業		
事業開始年度	1990(H2)年度	担当部署	市民安全部 市民活動課

根拠法令	枚方市校区コミュニティ活動補助金交付要綱
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> その他()
目的 (何のために)	校区コミュニティ協議会に対し、校区コミュニティ活動補助金を交付し、地域において行われるコミュニティ活動を支援し、安全で魅力あるまちづくりの推進及び地域住民の連携の促進を図る。
対象 (誰・何を対象に)	校区コミュニティ協議会(45校区)
事業内容	校区コミュニティ活動補助金は、地域特色を生かした弾力的な運用が可能な補助金と、自主防災活動・小地域ネットワーク活動・青色防犯パトロール活動など用途を特化した補助金との二段構えの補助金で、校区コミュニティ協議会へ交付している。 ※補助金の交付額 基礎額(弾力的な運用が可能な補助金):均等割額(373,000円)+人口割額(14円/人×校区の人口) 特別事業:自主防災活動(200,000円/校区)・小地域ネットワーク活動(500,000円/校区)・青色防犯パトロール活動(20,000円)
類似事業	なし
事業の必要性	地域において行われるコミュニティ活動を支援し、安全で魅力あるまちづくりの推進及び地域住民の連携の促進を図るために必要である。

コスト

	H23年度決算		H24年度決算		H25年度当初予算	
	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	0.40人	3,236千円	0.40人	3,200千円	0.40人	3,162千円
再任用職員	0.30人	1,035千円		0千円		0千円
非常勤職員等	0.04人	65千円	0.05人	37千円	0.04人	42千円
人件費計(A)		4,336千円		3,237千円		3,204千円
直接経費(B)		50,132千円		54,284千円		54,357千円
総事業費(A+B)		54,468千円		57,521千円		57,561千円

財源内訳

	H23年度決算	H24年度決算	H25年度当初予算
国庫支出金			
府支出金			
受益者負担 (使用料等)			
その他			
一般財源	54,468千円	57,521千円	57,561千円

	内 容	金 額
平成24年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	コミュニティ推進経費(補助金)	54,244千円
		千円
		千円

事業概要説明シート

事務事業番号 10601440002

事業開始年度	1990(H2)年度	担当部署	市民安全部 市民活動課
--------	------------	------	-------------

19

活動実績	活動指標もしくは成果指標	単位	H23年度	H24年度	H25年度(見込み)
	① 補助対象校区数	校区	45	45	45
②					
③					
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費/補助対象校区数	千円	1,148	1,278	1,280
	②				
	③				
成果目標 (目標とする成果)	地域において行われるコミュニティ活動を支援し、安全で魅力あるまちづくりの推進及び地域住民の連携の促進を図る。				
比較参考値 (他自治体での事業の例など)	なし				
特記事項	平成24年度から自主防災活動の補助金を3万円から20万円に増額した。また、特別事業の青少年健全育成活動(30,000円/校区)・交通対策協議会活動(23,000円/校区)・防犯協議会活動(均等割額20,000円+人口割額(4円/人×校区の人口))の補助金を基礎額に統合した。				
一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策(平成24年度)	改善	特別事業を統合し、地域実情に適応した使い勝手の良い補助金の形態に変更する。			
一次評価結果(平成24年度)	・公平性と同時にコミュニティ活動の貢献度に応じたインセンティブの高い補助金として分配する必要性があるのでは。				
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	改善	地域の意見や要望を参考に地域ニーズの高い制度となるよう、昨年度に再編・拡充しているが、引き続き、地域の実情に応じた柔軟な制度となるよう検証を進める。			